

～食物アレルギーと学校生活について～

吹田市教育委員会

食物アレルギーを有するお子さまの保護者の方には、新しく始まる小学校での学校生活について何かと不安をお持ちかと思います。食物アレルギーを有する子どもたちが安全に安心して学校生活を営むことができるよう、吹田市においても取り組みを行っております。ここでは、吹田市の小学校で行っている食物アレルギーへの基本的な対応について紹介します。



食物アレルギー対応を希望する場合…相談は？

アレルギーとなる原因の食品や症状は、個々のお子さまで異なり、アナフィラキシーなど重篤な症状に陥る危険性がある一方、過度な誤った対応は、適正な栄養が摂取できないなど身体の成長に影響を与える可能性もあります。

学校では、学校生活をより安心で安全なものとするため、保護者と面談を行い、お子さまの食物アレルギーの状況について把握し、成長に合わせて適切な配慮や緊急時の対応等を検討します。食物アレルギー対応を希望する場合、具体的な対応内容についての相談を各学校で個別に行いますので、相談を希望する旨を各学校までお知らせください。



やっぱり気になるのは給食！ 給食の対応はどうなるのですか？



吹田市では全校統一で、卵・乳・小麦の一部の除去食対応を行っています（令和6年4月現在）。代替物資を使用しての代替食や、量を調節して食べる慣らし食の対応は行っていません。

なお、「えび・かに・くるみ・そば・落花生（ピーナッツ）・アーモンド・あわび・いくら・カシューナッツ・キウイフルーツ・バナナ・まつたけ・やまいも」の13品目はそのものや原材料の一部としても提供しません。また、みかん・ポンカン以外の生で食べる果物、加熱していない野菜と魚介類を、給食で提供することはありません。

食物アレルギーを有するお子さまが、安全に安心して学校生活を営めるよう、医師の診断と指導のもと、対応を行います。

学校給食は集団給食であり、安全第一で対応してまいります。このため、保護者の皆さまの希望に必ずしも添えるとは限りませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

*コンタミネーション（原材料として記載のある食材以外が混入すること）においては、上記の13品目が該当する場合があります。

*小魚や海藻類は「えび・かに」と同じ生息地で混ざる漁法で採取しているため、付着している可能性があります。

*筒切りで提供している魚については、まれに魚卵が残ることがあります。

*さといもは提供します。



食物アレルギーの対応をするために必要なものは？

(除去食・欠食・代替食持参等の対応の場合は必要になります)

学校給食は教育の一環として実施しています。このことは食物アレルギーを有するお子さまについても変わりはありません。

安全で充実した食物アレルギー対応を行うため、医師の診断は必須としています。

給食の対応が必要な場合は、これ以後に学校から配付される「食物アレルギー等に関する確認書」にその旨記載し、学校にご提出ください。

(但し、本確認書は食物アレルギーの有無を確認するためのもので、新入生児童全員に配付します。対応の必要がない場合もその旨記載し必ず提出してください)

お申し出いただいたご家庭には、対応に必要な以下の書類 2 種を学校からお渡しします。

- ① 「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」（かかりつけ医が記入）
- ② 「食物アレルギーについての申出書及び確認事項」（保護者が記入）

また、医師から、アドレナリン自己注射（以下、エピペン）を処方されているお子さまについても、学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の提出が必要です。

なお、受診の際に必要な諸費用は保護者負担になります。

一ご入学までにお願したいこと一

ここでは、基本的な内容についてお示しました。詳細な対応については、各学校にご相談ください。また、学校以外でもアレルギー食品を摂取することも考えられますので、以下の事項にもご留意ください。

- お子さまが、何を食べたら、どんな症状が出るのか、食事以外のことでどうか（触っても症状が出るなど）、現在の生活で注意していることなど、この機会に再確認しておきましょう。お子さま自身にも、食べられない物は何か・食べるとどうなるか等、わかるようにお話をお願いします。
- エピペンを処方されているお子さまは、注射の方法や投与のタイミングについて、医師から十分な指導を受けてください。また、お子さまの成長に合わせて、いざというときに注射できるよう「練習用エピペントレーナー」を使った継続的な練習についても、医師の指導を受けておきましょう。

☆ エピペンは、アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医療機関で治療を受けるまでの補助治療剤です。